

令和6年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年10月18日(金) 午前10時から正午まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D、

(2) 運営協議委員E

(3) 本校職員

校長、教頭、部主事、教務課長、進路指導課長、フェスタ担当

4 議事

(1) 開会

学校長あいさつ

- ・磐田北高等学校との合同職員研修をしたり、地震対応のルールを見直したり、よりよい学校づくりのために取り組んでいるところです。

(2) 授業見学

ア) 校内実習(委託作業)

- ・1年 自動車部品の梱包作業
- ・2年 パンフレットのセット作業
- ・3年 ハンマーキーホルダーの組付け作業

イ) 見学をとおして(感想)

- ・「できた」体験はとても大切。複数人でやり遂げる体験はこれからにつながると感じた。
- ・届ける先を思い浮かべたり、良いものを届けようと相手のことを考えたりすることは大切である。また、数も把握して取り組んでいたところがよかった。
- ・集中力が養われていると感じた。生徒による作業体験の説明もよい経験になると感じた。
- ・丁寧に取り組んでいた。
- ・協力して取り組んでいた。

(3) 産業現場等における実習について(進路指導主事)

ア) 報告事項

①実習先について

- ・6月の実習先(2・3年)は、全体の約5割(食品製造を含めると約6割)が製造業だった。1年は製造業で集団実習を実施。
- ・10月の実習は、全体の約3割(食品製造を含めると約4割)が製造業で実施する。製造業が減少した分、小売業の実習数が増加した。理由としては、10月から1年生の個別実習が始まる。集団実習を製造業で行ったこともあり、いろいろな仕事

をしてみたいと他の職種を選択する生徒が多かった。その際、普段の生活で馴染みのある小売業を希望する生徒が多かった。

②実習動画の視聴

- ・製造業や小売業、運送業など8か所での実習の様子を動画で紹介した。実習後は報告会を実施することで、友達の実験も知り、進路選択の参考にできるようにしている。

イ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員A)

- ・実習開始からある程度たってからのVTRですか。

⇒色々です。

- ・職場で教えていただいたことは直ぐにできるのでしょうか。

⇒覚えることに時間がかかる生徒もいます。

(運営協議委員B)

- ・①集団実習の効果、②実習候補先の選定方法、③実習先の調整は誰が行っているか、④実習先の決定の際、作業内容の他に考慮していることはあるか、⑤最近の就職先の傾向について

⇒①集団実習は6月(5日間)に実施している。生徒にとって初めての实習であるが、集団で行うことで安心して取り組むことができている。実習に笑顔で取り組むことができている。

- ②本人と保護者の希望を受け、学校で検討をし、面談で話し合いの上決定している。御家庭より希望が出ないときは、学校から提案をしている。

- ③面談で相談をして決めている。

- ④時期にもよる。1、2年生はいろいろな職種や会社を体験することをねらっているが、2年後半以降は労働条件等も実習先を決める際に話題に上がっている。

- ⑤以前は75%が製造業に就職していたが、物流関係や介護職に就職する人が増えてきている。令和6年3月で製造業に就職した生徒は40%程度だった。

- ・実習先として、学校側が提案する会社は過去に実績のある会社ですか。

⇒過去に生徒が就職したり実習したりした会社が大部分です。

(運営協議委員A)

- ・実習先へは現地集合ですか。現地集合の指導はどのように行っていますか。

⇒現地集合です。通勤練習を家庭にお願いしています。

(4) 報告事項

ア) 学校経営の進捗状況について (副校長)

学校経営計画書に基づき説明

- ・校内事故0を目指し、授業時には、生徒が動きやすい環境づくりに努めた。また、熱中症指数を常に測りながら対応したり、塩分タブレットや冷水の用意をするなどして熱中症気味の生徒に対応したりしたことで、大きな体調不良者は出なかった。

- ・有事への対応については、十分な訓練を実施できた。生徒引き渡しに備えて、今年は職員による引き渡し想定訓練を実施する。また、送迎時の混雑を想定して駐車場をどうするかについて考えていく予定。
- ・教科学習の充実を図るために、評価規準の見直しを生徒の実態に合わせて行っている。合わせて、教員の授業力を向上のために、一人一授業を実施している。
- ・人権教育を充実させるために、人権研修を実施。職員打ち合わせで生徒対応の報告を行うなどして、全校生徒を全職員で育てていけるように取り組んでいる。
- ・学びを共に育てる連携面では、磐田北高等学校と夏に合同職員研修を行った。冬も実施予定。
- ・今年度、オープンスクールを初めて実施した。生徒による作業体験や説明を取り入れて実施した。自らの言葉で自信をもって対応する姿が見られた。
- ・関係機関との連携では、個別の教育支援計画を活用して、生徒の様子を知っていただいた。
- ・家庭との連携を図るため、日々の活動の様子を連絡ノートや学年だよりで伝えた。連絡ノートで伝わりにくい時には、直接電話で伝えること、できるだけ迅速な対応をすることを心掛けた。

イ) 御意見や御質問（・）それに対する回答（⇒）

（運営協議委員B）

- ・オープンスクールにはどのような方々が来校したのか。

⇒地域の中学生とその御家族が多かった。

- ・個別の移行支援会議の持ち方は学校ごと異なるが、とても大事な会議だと思うので、さらに充実させてほしい。

⇒学校で企業、関係機関が集合して実施している学校もあるが、本校では、個別に会社訪問をして実施している。

（運営協議委員A）

- ・教科の指導内容で工夫しているところは。

⇒身近な事柄を取り上げ、生活に生きるようにすること、学ぶことが楽しいと思える授業にしようと工夫している。また、習熟度別の指導も実施している。

（運営協議委員D）

- ・47名中、自転車で通っている生徒はどの位いるのか。

⇒20数名です。

- ・交通ルールも厳しくなっている。

⇒安全対策としてヘルメットの推奨を強くしていく。

ウ) 学部経営の進捗状況について（部主事）

学部経営計画書に基づき説明

- ・教員の多忙化の解消のため、仕事を計画的に分担している。
- ・教員の授業力の向上を目指し、一人一授業の公開を実施している。参観者による授業紹介の回数を今後増やしていきたい。

- ・職業の授業の充実を図っている。そのために、学年ごとに単元のねらいや方向性について話し合いをしている。また、学部全体での検討も実施している。
- ・さみどり祭や体育祭では、1年生を2，3年が引っ張っていく姿が見られた。
- ・家庭との連携について、学年だよりとホームページの内容が重ならないようにしていきたい。学年だよりには、授業のねらいを載せるなどしていきたい。

エ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員C)

- ・教員の人権感覚の向上に対する具体的な取り組みを教えてください。
- ⇒意識の向上をはかる研修や呼びかけに加え、不適切な接し方を見たときには、報告を上げてもらい、管理職等から直接指導することになっている。

(5) 協議事項

ア) 見付の丘フェスタについて (フェスタ担当)

実施計画に沿って説明

- ・昨年度の御意見を受けて、看板とのぼり旗を用意した。また、休憩スペースの設置を計画している。
- ・今年度は外部団体の参加数が減少している。その中で、来校者に対して感謝の気持ちを持ち「おもてなし」していきたい。

イ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員A)

- ・見付駐車場の東側にある掲示板を活用して宣伝をしてはどうか。

(学校より)

- ・来年度に向けて外部団体の候補があれば紹介してほしい。
- ⇒酒井太鼓グループはどうか。大人のグループと子供のグループがある。大人のグループは8人程度である。もし希望があれば声をかけておきます。

(運営協議委員B)

- ・分校の自主生産作業製品を販売している磐田市の新造形創造館に、チラシを置いてみたらどうか。

⇒ぜひお願いしてみます。

(6) 連絡事項 (今後の予定)

- ・第3回学校運営協議会 令和6年11月24日(日) 午前9時50分から正午まで
- ・第4回学校運営協議会 令和7年2月 詳細は後日連絡

(7) 閉会

学校長あいさつ

- ・学校経営への御意見、ありがとうございました。本話題になったことに補足すると、まず授業については、生徒が楽しいと思える授業を実施していきたい。また、人権を意識し、説明ができる言動をとるようにしていく。

- 交通安全については、被害者にも加害者にもならないように、安全対策としてヘルメットの着用を強く勧めていきたい。また、交通ルールについても繰り返し伝えていきたい。
- 11月実施の見付の丘フェスタは生徒が自信をつけることができる場であると考えている。参観ぜひよろしくお願いいたします。